

三鷹市議会議員 無所属・市民派 三期

野村 羊子

のむら ようこ

といっしょにつくる三鷹の会ニュース



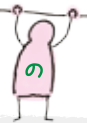
あなたの声が
活きる三鷹へ



三鷹市では市民のニーズはまだまだ満たされていません。

今、三鷹市では保育園の待機児が待機児が190人(2018.4.1現在)です。児童館が2館しかなく、ユースの行き場がありません。役割の違うスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーが兼任でオーバーワークです。特別養護老人ホームの待機者も316人(2018.11.30現在)います。どんぐり山が廃止され、低所得高齢者の行き場がなくなります。重度の障害者が通える施設は市に1つしかありません。新しくできた生涯学習センターは有料で利用率が半減しました。市民のニーズは数限りなくありますが、多くが満たされていない状況です。これらは予算がないためだと言われています。

主役は市民!



野村羊子は市民の幸せのための健全な循環システムを提案します。

一般的に社会保障費(福祉・医療・保険)が年々大きくなって財政を圧迫しているため問題だと言われています。本当にそうでしょうか。これからの社会に必要なのは福祉の分野です。社会保障費は保育士、介護福祉士など福祉の現場で働いている人に賃金が支払われます。介護や育児などの福祉サービスへのニーズが高まっているからこそ、そこに予算を当てていく必要があるのです。福祉施設運営費や人件費に予算を使うことで安定したサービスの提供につながります。

中也
見てね!

野村羊子プロフィール

1957年生まれ。北海道札幌市で育つ。
明治学院大学卒業後、福祉施設に7年間勤務し、自閉症児とともに暮らす。
1988年：絵本と木のおもちゃの店「プーの森」を吉祥寺に開店。
1993年：三鷹市下連雀に移転し、以降25年三鷹に暮らす。
2007年：三鷹市議会議員となり、現在3期目。

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
[TEL/FAX] 0422-72-2425
[E-mail] issyonokai@nomura-yoko.net
[URL] <http://www.nomura-yoko.net>
郵便振替口座 00160-2-335606
加入者名「野村羊子といっしょにつくる三鷹の会」

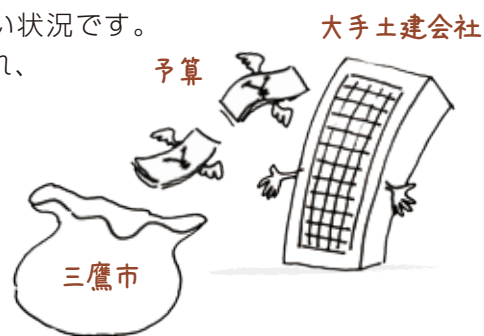


野村羊子は、持続可能な社会の構想を提案します。

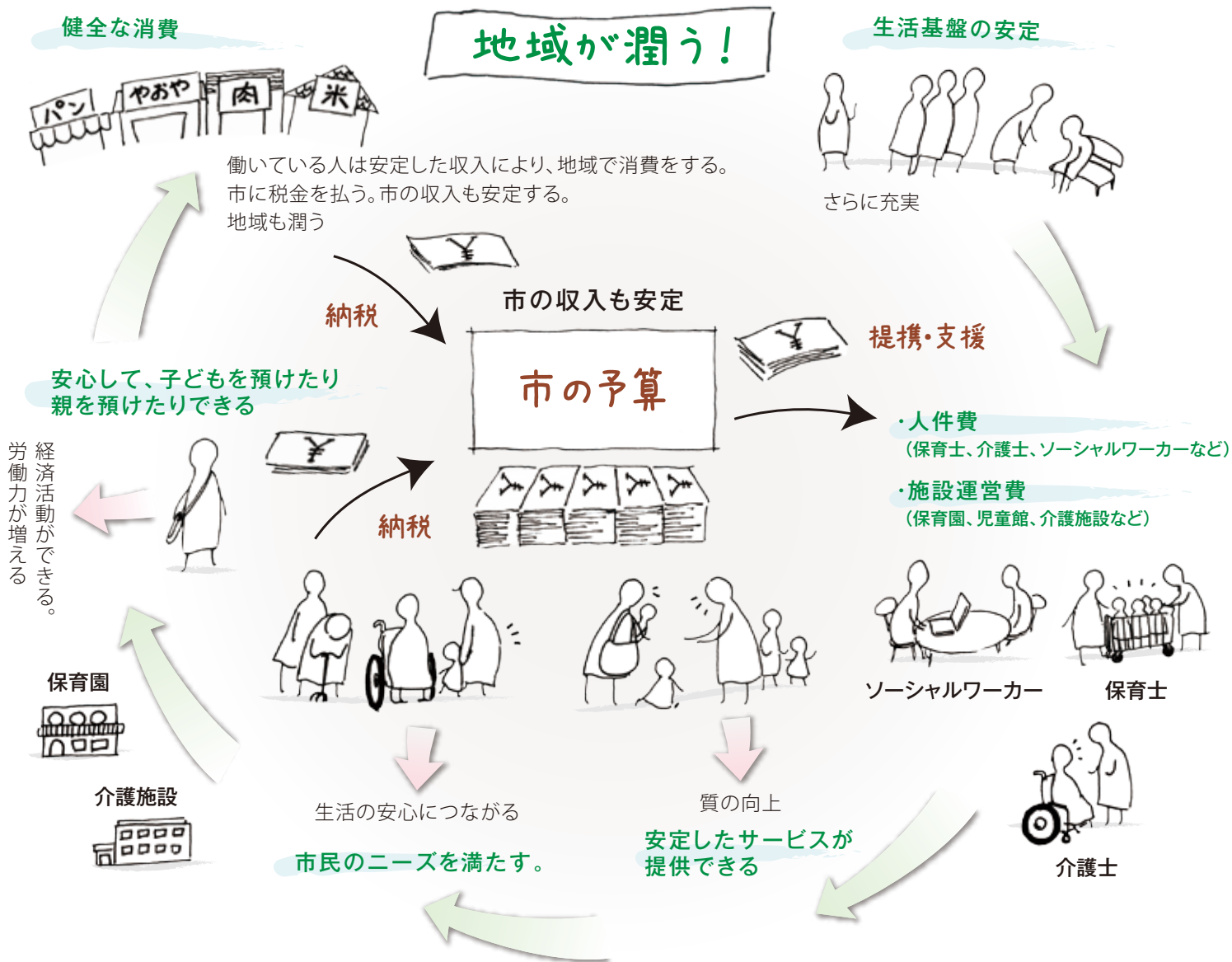
三鷹市では今、市民のニーズは数限りなくありますが、多くが満たされていない状況です。社会保障費(福祉・医療・保険)が年々大きくなって財政を圧迫していると言われ、予算が抑制されています。本当にそうでしょうか。

三鷹市は三鷹中央防災公園・元気創造プラザに250億円を費やし、市庁舎等の建て替えに200億円を予定しています。大手土建会社に単発的に支払ってしまうと建設費や雇用は市外に流れてしまうことになります。

市の予算やリソースを、施設運営費や人件費に回していくことで持続可能な経済循環が生まれます。社会システムそのものを変えていく必要があります。



持続可能で循環型の社会って？



市民のニーズを満たしていける社会システムに変えていく必要があります。